



俵 万智 選

子は親に見つけてほしく親は子に見つけてほしいおゆうぎの会 京都市 袴田 朱夏

【評】そわそわする子どもの姿が目につかぶとともに、後半の親の気持ちにハッとさせられた。確かに、親の側も見つけてほしいもの。親子とは合わせ鏡のようでもある。

私には旧姓というものがない歯医者だけにいる歯のキャラクター 東京都 鳥さんの臉

【評】旧姓を持たない自分と歯科医のキャラクター。決してイコールではないが、どこかに知らない世界がありそうな両者だ。つかず離れずの距離感に考えさせられる。

旅の宿クルマのナンバー我に聞きお茶のセットを妻に差し出す 東京都 玉井 洋介

【評】宿の人の「運転は夫で、お茶を淹れるのは妻」という思いこみに、抵抗を感じたのだろう。逆だって、ありえるはずなのに。

抱きしめてくれる子と居ていつ母を抱きしめたかは思い出せない 朝霞市 桐島 あお

いつ押すのいつ押すのって幼子の声が聞こえる市バスの中で 倉敷市 中路 修平

ひまわりのつぼみを知らない 君のことおんなじように知らないのかも 東京都 佐藤ことひら明け方にしんと黙った洗濯機 最後に君のシャツを洗って 飯能市 新井さちこ

雑貨屋で妙ちくりんなものばかり買うあなたから選ばれた僕 所沢市 ラング

ゆびさきで素早く届くころ(でも)だからしずかな便箋えらぶ 埼玉県 玖嶋さくら

お客様カードのたばにレアカード煌めくやうなお褒めの言葉 栃木県 おたべ



黒瀬 珂瀾 選

八十年過ぎし戦地のミンダナオ M 7・8に父も揺れたか 横浜市 川和 文子

【評】地震に襲われたミンダナオ島。そこは戦死した父の遺骨が今も眠る地。突然のニュースが戦争の記憶を呼び覚ますのです。豊臣の兄弟瞬く大河にて鬼若子じつと出番待つ

【評】鬼若子は土佐の戦国武将・長宗我部元親の異名。大河ドラマで当地ゆかりの人物が活躍してほしいと願う人は多い。さて、元親はどんな風に描かれるでしょうか。

噴水になれなくなつた水たちはマンホールの蓋噴き上げ笑ふ 太田市 松島 純

【評】公園の噴水になるか、洪水で道路を水浸しにするか。どちらも同じ水だが、人間の都合で災害の原因にされもする。水を支配しようとする人間の傲慢を、水は笑っている。

廃棄する鎌倉彫の鏡台にふれつつ母をおもう梅雨の夜 新潟市 横間 征子

「あの時の鶴です」みたいな人が来て夫へのお礼の野菜預かる 鴨川市 春木 敦子

ひよどりの食み残したる紅き茱萸を葉陰に見つけ口に含みぬ 前橋市 近藤 周雄

小さな蟻大蚯蚓に群がりて胴体二つに切り離しゆく 仙台市 小野寺健二

庭いちめん白きハナニラ咲かしたるこの家主はいかなる人か 東京都 広瀬 清信

突然にTeamsの声漏れてきて「歯車、押してみて」と教わる さいたま市 内藤 剛

別れよかって思ってもないけど言うてみてんあんなの芯をためしたかってん 和歌山県 山野 莓

◇投稿規定◇ はがき1枚に未発表の1作品。住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記。◇他の媒体、選者への二重投稿は厳禁です。選者が添削することもあります。〒103・8601、にほんばし蔵前郵便局留、読売歌(俳)壇、〇〇先生(希望選者名)係または読売新聞オンラインから ◇毎週月曜日に掲載 右の影絵はすいかわり